

羽村市教育委員会 殿

学校名 羽村市立羽村第一中学校
校長氏名 三浦 利信 公印

令和8年度教育課程について（届）

このことについて、羽村市公立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

記

I 教育目標

(1) 学校の教育目標

未来に生き、未来に働き、未来を創造する、心身ともに健康な人間を育成する。

○みずから鍛える ◎ひろく思いやる ○すすんで考える

「第二次羽村市生涯学習基本計画」、「はむらの学校教育」を踏まえ、令和の日本型学校教育の推進、GIGAスクール構想等の教育課題に柔軟に対応し、本校の歴史と伝統を大切に、「誰にも優しい学校」「互いに認め合える学校」を目指して、教育目標を実現するための基本方針を以下に掲げ、教育活動を進める。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 「みずから鍛える」生徒を育成するために

- 自己理解、望ましい勤労観・職業観の育成などに向けた教育活動を実践し、将来の生き方を考える活動や社会的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を身に付けさせる
- 体験的な学習や地域との協働等の特別活動、道徳授業を中心に、規範意識を醸成させながら、生徒の自尊感情や自己有用感、他者との望ましい関わり方を養う。

イ 「ひろく思いやる」生徒を育成するために

- 共生・共存を柱とした人権尊重教育を推進し、自分の大切さとともに他人の大切さを認められる、心豊かな人間の育成を目指す。
- インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、「連続性のある『多様な学びの場』」の確保、個に応じた指導・支援の充実、特別支援教育の充実を図る。

ウ 「すすんで考える」生徒を育成するために

- ねらいを明確にした指導、1人1台端末をはじめとするICT機器の効果的な活用等を進め、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫・改善を推進する。
- 各教科における基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、教育活動全体において読解力の育成に取り組み、知識・技能を活用した言語活動等の充実を図る。

エ 「社会に開かれた教育課程」を実現するために

- 地域との連携、交流、協働を実践するとともに、地域活性の拠点校としての役割を担う。併せて、学校便りやホームページを通して情報を発信し、教育活動に対する理解や協力を深める。
- コミュニティ・スクール委員会において、学校の経営方針や教育課題、学校評価などを協議し、実践的な課題改善をとおして学校運営の充実を図る。
- 学校の喫緊の課題である不登校及び不登校傾向がある生徒対応について、地域の力を活用し、個々の状況を把握し、学校内外の人的・物的資源を活用し組織的に対応する。